

『円高と九州経済

—強まる生産の拠点性—』

説明会のご案内

2012 年 2 月 29 日 (水)

13:30～15:00 (13:00 開場)

福岡銀行本店 地下大ホール (福岡市中央区天神)

入場無料

1967 年に創刊し今年で 45 回目を迎える九州経済白書。今年のテーマは、「円高と九州経済」です。2011 年 3 月 11 日、東日本を襲った未曾有の大震災は、九州にも影響を与えましたが、急速なサプライチェーンの復旧もあり、九州への影響は軽微にとどまりました。震災による直接的な影響は終息したものの、むしろ重要なのは、震災後の円高をはじめとした製造業を取り巻く環境の厳しさにあります。しかし厳しい中でも九州の製造業には力強さがあります。これまでの量的な資本ストックの蓄積の上に、質的な機能が加わろうとしているからです。

2012 年版「九州経済白書」は生産機能に焦点をあて、3.11 東日本大震災の影響とこの間の構造的な動きを捉えます。

●構成

総論

- 1 章 3.11 東日本大震災後の九州経済
- 2 章 生産の拠点化が進む九州の工場
- 3 章 わが国の牽引役となる九州

各論

- 4 章 リーマンショック後の製造業の経営とイノベーション
- 5 章 国内での拠点性を高める大規模工場
- 6 章 経済環境の変化の下で試練が続く中小製造業

●説明者

加峯 隆義 Takayoshi Kabu / 九州経済調査協会 調査研究部 次長

* 当日、2012 年版九州経済白書を **会場特別価格 2,500 円(通常価格 3,150 円)** で販売します。

〔会場〕 福岡銀行本店 地下大ホール
(福岡市中央区天神 2-13-1 地下鉄天神駅より徒歩 3 分)

〔共催〕 株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ
福岡商工会議所
財団法人 九州経済調査協会

〔後援〕 株式会社 FFG ビジネスコンサルティング